

【へブル人への手紙3章】

「きょう、もし御声を聞かならば、、、」(3:7、15)

雲の間にある虹誌6月号の巻頭メッセージに「人生は神の声に聞き従うかどうかで決まる」とありますが、これは私達の人生における最も大切なポイントです。今は亡き榎本保郎牧師も、このような面白いとえを言っておられます。「将棋の名人が優勝するのは、将棋の駒が立派だから優勝するのではない。駒の良い悪いではなく、差し手が上手かそうでないかで、決まるのである。」大切な事は、誰に進められ、誰にさされて自分の人生を歩んでいくかということだと言っています。私達は駒です。差し手は神様です。駒がもしそこは嫌だとか、自分で勝手に場所を選ぶなら勝利はありません。しかし、たとえ紙に書いたような駒であっても、名人がそれを進めて行ったなら勝利するのだと。そういう意味で、自分が何が出来るとか、自分は何を持っていてとか、何が出来ないかというようなことは、神の働きにそんなに問題ではないのです。神様はそのようなこと全てをご存じで、私達を選び、私達が素直に神の手に従ってゆくなれば、私達の欠点を覆い、私達にないものまでも与えて、神のみわざを表してくださいませ。

だから、今日、もしみ声を聞いたら、素直に従いましょう。神様に示されたこと、導かれたことがあるなら、今日、今、直ぐに従いましょう。後で、、、よく考えて、、、時間があつたら、、、と私達は言いがちなのです。しかしその間に、色々な思惑が、神の言葉を曲げてしまいます。そして結局できなかったことがたくさん過去にもありました。またそのような話をよく聞きます。

モーセに導かれて、60万人(女子供を入ると200万人位)のイスラエルの民は、奴隷を強いられていたエジプトを脱出しました。荒野を旅して、ついに約束の地カナン(現在のパレスチナ地方)を目の前にした時、神の声を聞きます。「約束の地カナンに入れ！」しかし、カナンの住民が大きくて強い民であるのを知って恐れ、御声に従いませんでした。その結果、イスラエルの民は約束の地に入ることができませんでした。40年間苦難の道を歩むことになったのです。

心のかたくなさと、不信仰のゆえに、神様が与えようとしておられるものを受けられないことがないように、聞く耳、従う素直な心を与えて下さいと祈りましょう！

「愛するみなさん、心が悪に染まり、不信仰に凝り固まって、生ける神様から離れることがないように、自分の心を見張りなさい。まだ時間があるうちに、日々、互いにこのことを確かめ合いなさい。そうすれば、ひとりも罪の魅力に惑わされて、神様に心を閉ざす人が出ないでしょう。もし私達が、初めてキリスト様を信じた時と同じ気持ちで、神様に信頼し、最後まで忠実であれば、キリスト様にある一切の祝福を受けることが出来るのです。ですから、今この時が肝心なのです。」(3:12~14)

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.5.19 No.737

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、
栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>